

こ
ん
に
ち
は

し も す わ
町 議 会

で す



♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡

議会掲示板(商工会議所・町内会との懇談会)…13P

「私が町長だったら」……………14P～15P



私の好きな下諏訪「冬の夕暮れ」(撮影：福王寺 嵩平)

一目でわかる議決結果

議案名(一部省略)	
○ 同意	固定資産評価審査委員会委員の選任
○ 可決	令和3年度一般会計補正予算(第8号) → 詳しくは4ページ①へ
○ 可決	国民健康保険条例の一部改正 → 詳しくは5ページ③へ
○ 可決	消防団員等公務災害補償条例の一部改正 → 詳しくは4ページ⑤へ
○ 可決	令和3年度一般会計補正予算(第9号) → 詳しくは4ページ②・5ページ②へ
○ 可決	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) → 詳しくは5ページ④へ
○ 可決	令和3年度温泉事業特別会計補正予算(第1号) → 詳しくは4ページ③へ
○ 可決	令和3年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号) → 詳しくは5ページ④へ
○ 可決	令和3年度下水道事業会計補正予算(第3号) → 詳しくは4ページ④へ
○ 可決	令和3年度一般会計補正予算(第10号) → 詳しくは5ページ①へ
請願名	
○ 不採択	75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願 → 詳しくは3ページへ
意見書案名	
○ 可決	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 → 詳しくは下記へ
○ 否決	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書 → 詳しくは3ページへ

12月定例会 議案等賛否一覽

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等(省略)	議員名(議席順)	議決等結果	森	樽	田	増	林	岩	青	大	松	中	野	中	金
			安	川	嶋	沢	元	村	木	橋	井	山	沢	村	井
			夫	信	彰	昌	夫	清	利	和	節	透	弘	光	敬
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願	不採択	×※	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○
後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書	否決	×※	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

※賛否同数のため、議長の裁決権行使により議決しました。

意見書案の審査結果

意見書案第8号

委員会提案

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し

地方税財源の充実を求める意見書

国へ

賛成多数で可決

新型コロナウイルス感染症拡大により、下諏訪町の財政は大変疲弊している状況である。国に対し、地方税財源(町への国からの交付金)の確保と、町の税収入に対して影響がない地方税改正を行うよう求める内容です。

「コロナ禍での減税分は国が補填しているのに、反対」「国の減税施策は理解はするが、地方財源へのしわ寄せがないようにしてもらいたいの、賛成」との討論があり、採決の結果、挙手多数で可決しました。

請願・意見書案の審査結果

請願第1号

請願者 諏訪地方社会保障推進協議会

75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願

賛否同数で議長裁決の結果不採択

国会では、今年6月4日に全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法の一部を改正する法律が可決され、75歳以上の高齢者の医療費窓口負担2割化が決まりました。単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯では320万円以上の高齢者が対象となります。この法改正で国は年間1050億円の給付金額削減が実現できると試算しています。また、現役世代の負担軽減を導入の目的にしていますが一人当たりの軽減額はわずか月額30円程度にすぎず、将来75歳以上になった時の負担額の方が多くなると予測されています。高齢者の医療負担額増による受診控えが、コロナウイルス感染拡大の状況下で一層進むと考えられるので、高齢者の命と健康を守るため医療費窓口負担の現状

維持に留めるよう求めるものです。

「2割負担が実施されれば、新型コロナウイルス感染症拡大に加え、受診控え、介護サービス利用控えなどで健康維持の困難さも増えてくるので賛成」「2割負担になってもすべてのケースで実際の負担額が2割になるわけではない。複数の病気で外来受診しても、負担額の上限を月3千円とする配慮措置が設けられている。現役世代の負担抑制にもなるので現状維持には反対」との討論がありました。生活文教常任委員会では、採決の結果、挙手多数で採択されましたが、本会議では、討論、採決の結果、賛否同数。議長裁決により不採択となりました。



意見書案第9号

議員提案

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書

国へ 賛否同数で議長裁決の結果否決

請願第1号の願意に沿って議員提案されたものです。

討論では、「国は『働き方に中立的な社会保障や税制を整備し、勤労者皆保険の実現に向けて取り組み、人生100年時代を見据えた、子どもから子育て世代、お年寄りまですべての方が安心できる全世代型社会保障の構築』を検討している。この意見書はその政策を後退させるものなので反対」「今回の改正は、高齢者への医療費の負担を

現役世代に押し付けるのではなく、高齢者にも負担してもらい公平にするものである、高額医療費に対する国の公費負担もあり、すべての高齢者の窓口負担が増えるわけではないので、反対」。

「窓口2割負担になると受診控えにも繋がり、病気の悪化により医療費も膨らむことになるので、賛成」「高齢者にしわ寄せを押し付けるのは許されないので賛成」との討論があり、採決の結果、賛否同数。議長裁決により否決されました。

子育て世帯臨時特別給付金

年内支給に向け 議会開会日に可決

一般会計予算決算審査

特別委員会

①初日即日議決

18歳以下の子ども1人に
5万円を支給

年内の支給を目指すため、子育て世帯臨時特別給付金給付事業に関わる1億3381万円の一般会計補正予算を、議会開会日に、即日審査しました。

18歳以下の子ども1人につき5万円を支給する国の施策に沿うもので、保護者の所得に制限がありますが、0歳から中学生には、町の児童手当のシステムが活用されます。中学卒業後の高校生等については、申請が必要ですので、年明け以降の支給となる予定です。財源はすべて国からの補助で賄われます。

「コロナ禍で真に困窮している方々への支援策が望まれるが、この給付金により救われる方々がいるのも、事実。一定の効果を期待する」「町のすみやかな対応を期待する」

などの賛成討論があり、全会一致で可決されました。

なお、臨時特別給付金の追加分5万円については、「現金支給とし、年明けの臨時議会に補正予算を諮る」ことが、議会閉会日の議会全員協議会で、町長から報告されました。これにより、申請手続きが必要な高校生等については、10万円が一括で支給されることとなります。

②キヨスク跡地利用や

災害復旧など



8月豪雨災害で被災した津島公園横

8月豪雨で被害を受けた農地災害復旧に2620万円、農業用施設災

害復旧費3310万円が計上されま

した。国からの補助金や、津島公園東側の農地復旧には県所有の擁壁も含まれるため県から、砥川より取水している大汐の復旧については「協定」に従い岡谷市から、それぞれ受託料・負担金が入ります。

商工業振興事業費に、372万円が計上されました。その中には、下諏訪駅キヨスク跡地活用のため、町がJ Rと契約し、商工会議所にリフォーム・物品販売などを委託し、来年御柱祭前オープンを目指すことや、空き店舗活性化や商工業振興助成金の追加補正が含まれます。

「キヨスク跡地活用は、駅前通りの活性化につながることを期待する」などの討論がされ、全会一致で可決しました。

総務経済

常任委員会

③温泉使用料も

コンビニ・スマホ決済可

来年度から、温泉使用料をコンビニやスマホで決済できるなど、支払方法が増え、より便利になります。システム改修費で59万7千円計上。

納付者の利便性が高まるとの討論があり、全会一致で可決しました。

④汚水ポンプに補助金

下水道本管より低地に住宅を建築する際、下水道本管までの新規汚水ポンプ設置に対し、2分の1（上限100万円）の補助金交付要綱がつけられました。町では今までに8基のポンプを設置しており、それらは今後も使用者がいる限り町で管理・更新し、使用者がいなくなった時点で廃止する方向です。要綱新設に伴って、1件分100万円を予算計上しています。

「今後の下水道接続率向上に繋がれば」との討論があり、全会一致で可決しました。

⑤年金担保貸付廃止

R4年4月1日の年金担保貸付事業廃止に伴い、消防団員等公務災害補償条例を改正するものです。全会一致で可決しました。

傍聴のお誘い

下諏訪町議会の本会議や各委員会は、すべて傍聴が可能です。マスク着用の上お出かけください。

原油価格高騰に対する「福祉灯油」 3回目のワクチン接種体制づくり



一般会計予算決算審査

特別委員会

①最終日に追加上程 福祉灯油と ワクチン3回目接種準備

原油価格高騰の影響を受けている低所得者層の経済的支援としての福祉灯油助成事業1790万円と、新

型コロナウイルスワクチンの3回目の接種の体制づくりのための1673万円が計上されました。

福祉灯油助成事業は、町民税非課税世帯（生活保護世帯、高齢者世帯、要介護世帯、重度障がい者世帯、ひとり親世帯など）1700世帯への支給が見込まれます。原油価格高騰は、灯油だけでなく電気代やガス代にも影響しているため、灯油以外の費用に充てることができるよう、現金1万円が支給されます。年内支給を目指し、対象世帯には早急に申請書が発送されます。

3回目のワクチン接種は2月～3月に開始予定です。降雪対策や寒さ対策が必要で、事務費ほか除雪機の購入も含まれます。2回の接種済者に案内通知が出されますが、1、2回目の未接種者にも継続して対応されます。

「原油価格の高騰が町民生活に与える影響は大きい。今回の灯油購入など暖房費に対する助成金は、行政の温かさも届けられることになると思う。また、ワクチン接種も準備を怠りなく進めていただき、スムーズに接種が進むことを期待する」との賛成討論がされ、全会一致で可決しました。

②コロナ対策、 保育環境整備など

コロナで運賃収入が大幅に減ったアルピコ交通に対し、町民の足とな

る乗合バスの運行を確保するため、4市町が補助金を支出します。R2年度の赤字総額401万6000円のうち、当町は87万5000円を支出します。

保育所管理運営事業費は、みずべ保育園の各保育室に、温水器設備を設置する工事に230万円。当町から他市町の保育園・幼稚園に通う園児に対して支払う負担金798万円の計上についても、全会一致で可決しました。



温水器が設置される予定のみずべ保育園保育室手洗い場

生活文教

常任委員会

③出産育児一時金 支給総額は変わらず

R3年8月4日に出産育児一時金に関わる「産科医療補償制度」の見直

しに伴う改正が行われ、R4年1月から施行されます。それに伴い町国民健康保険条例を一部改正するものです。

「産科医療補償制度」は、分娩に関連して発生した重度脳性麻痺を対象にする補償制度（H21年開始）で、出産の際に保険者から支給される出産育児一時金の一部が掛け金としてプールされ、補償金に充てられるものです。今回の改正では、このプール額に余剰が生じたために、一分婉あたりの掛け金が4000円引き下げられました。

しかし、少子化対策の重要性から、出産育児一時金の給付総額は現行の42万円を維持するとの国の決定があり、当町の給付額も、掛け金の引き下げ分と同額の4000円を引き上げるものです。

この改正に伴う町国保会計への影響はありません。全会一致で可決しました。

④その他の議案

R3年度後期高齢者医療特別会計補正予算は、本年度中の人事異動などに伴う人件費を整理するものです。

R3年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算は、寄附金を「福祉施設基金」に積み立てる内容です。いずれも全会一致で可決しました。

問 来年度予算と施策の基本的考えは

<グループ名>

日本共産党



<所属議員>

増 沢 昌 明 議員
松 井 節 夫 議員
金 井 敬 子 議員

私たちは問いかけ提案する
一般質問



下諏訪町議会のホームページから一般質問の詳細や録画を見ることができます。
パソコンやスマートフォンから、いつでもご覧いただけます。



12月定例会の一般質問は、代表質問を3グループ、単独質問を5人が行いました。

6P 日本共産党

代 表 松井 節夫
関連質問 増沢 昌明
金井 敬子

「来年度予算と施策の基本的考えは」

8P 令和会A

代 表 中村 光良
関連質問 野沢 弘子

「町の賑わい構築に向け新拠点を」

9P 令和会B

代 表 中山 透
関連質問 田嶋 彰

「町長の御柱祭のリーダーシップは」

10P

樽川 信仁

「諏訪湖博物館の今後の企画は」

林 元夫

「企画開催に共通ガイドラインを」

11P

大橋 和子

「星ヶ塔遺跡 投資も必要」

岩村 清司

「学校統合をどのように考えるか」

12P

青木 利子

「初の新年度予算編成への思いは」

*各議員は写真撮影のため、マスクを外しています。

問 総合文化センターの改修を一年見送る理由は。

町長 資材高騰、人手不足、8月の豪雨復旧が財政を圧迫することもあり、文化センターの活用のあり方などを含め、改修については検討会を設置し一年かけて検討する。

問 老朽化した校舎の改修を進めるべき。

教育こども課長 各校からの声を真摯に受け止め、雨漏りなどには早急に対応した。限られた財源ではある

が、個別計画を見直しながら、また、生徒さん達の理解も得ながら進める。



社中校舎内の雨漏り箇所

問 砥川下流部左岸に、ガードレールが必要では。

建設水道課長 長野県河川

福祉灯油年内に実施

問 コロナ禍で苦しむ町民を支援する町の独自策を。

町長 国・県からの補助も受け、事業者への支援を実施してきた。今後の感染や経済状況を見て対応したい。
問 原油価格高騰に対する具体的施策として「福祉灯油」などを求めるが。

町長 生活困窮者（町民税非課税世帯1796世帯予

定)への支援として、1万円を年内に給付。

問 子どもにもかけられる国保税の均等割りの負担軽減策を求めるが。

町長 未就学児への5割軽減を、来年度から国が実施する。町単独で均等割り軽減を拡大するのは難しい。

問 再度の「がんばれ！未来を担う学生激励事業」の実施を。

総務課長 困窮学生への一人10万円緊急給付金を国が予定していると聞く。明らかに変わったところで、判断する。

問 「町はいつでも応援しているよ」というメッセージを送ってほしい。

町長 新年度で、検討する。



昨年度の学生激励事業で送られた品々

生理用品ニーズ無し

問 「生理の貧困」対策を実施している自治体が、全国に広がっている。女子トイレへの配置で、保健室に取りに行く方式の160倍に利用が増えた事例報告もある。小中学校、公共施設のトイレへの生理用品の配備検討の手段として、「お試し配備」を提案するが、いかがか。

教育長 再度学校に必要性について確認したところ、「困っている子はいない」「ニーズはない」「児童・生徒との信頼関係ができているから、保健室への配備で十分」「衛生面でかえって問題」「必要のない子が持つていく」などが、回答。学校の思いを受け止めたいので、今後研究を進めていきたい。

タブレット使用順調か

問 小中学校でのタブレット使用の状況は。

教育長 全クラスで実施。小学校低学年は毎日の使用

ではないが、高学年は日常的に使用し慣れてきている。

問 学校授業中のタブレット使用に関するトラブルや、それに対する対応は。

教育長 機器に関わるものや、不慣れで生じるトラブルはあるが、その場では予備機を使用したり、授業後は保守業者に依頼し対応。



南小のタブレットを使用した授業風景

問 県教職員組合のアンケート結果では、タブレットを使用する授業への負担が大きいことから、ICT専門担当職員の配置を望む声や、「タブレットでの授業実践に意欲を失ってしまう」という回答があるが町ではどうか。

教育長 各校、情報担当の先生が中心に、また、教育

委員会の担当職員も入り取り組んでいる。「イヤ」とか「負担」という先生方の声はなく、子どもと一緒に楽しく使っていくにはどうすれば良いかと皆前向き。

問 タブレットの使用による、ネット上のいじめなどが心配されるが。

教育長 今後充分に気を配る必要がある。

町長 タブレット授業は新しい教育形態の一步。うまく活用することで、教育内容に幅や深みが出てくると思う。

手続きの丁寧な案内を

問 独居高齢者対策として、地域での見守りを組織化すべきでは。

保健福祉課長 組織化は難しい。住民の小さな気づきを大切にもらうことを、町民に呼び掛けたい。

問 身寄りのない独居老人や高齢者夫婦のみの世帯の状況は。

保健福祉課長 独居高齢者は1834人で、何らかの見守りや支援の必要な人の

登録者数は728人。高齢者夫婦のみの世帯は、1434世帯。

問 身寄りのない独居高齢者の死後の手続きは。

保健福祉課長 老人福祉法に基づく親族調査など実施し、対応。

問 「死亡届時の様々な手続きについて」の案内が、不足している。丁寧な案内をしている木曾町や軽井沢町のような「おくやみガイドブック」を作れないか。



木曾町の「おくやみガイドブック」

住民環境課長 死亡届が出される際に、「死亡届後のご案内」を渡しているが、再度見直し、充実を図り、ホームページに掲載する。「ガイドブック」については検討する。

<グループ名>
令和会A



<所属議員>
野 沢 弘 子 議員
中 村 光 良 議員

問 町の賑わい構築に向け新拠点を

町長 旧矢崎商店土地建物を購入予定

問 四ツ角・御田町一帯の駐車場や道路改修整備などが最終段階にある。町の賑わいを構築するためにインパクトある新拠点が欲しいと考えるがどうか。

町長 移住定住や起業創業などの情報交流機能、歴史ある建物を生かした観光機能を備えた施設にしたい。



御田町の旧矢崎商店

問 具体的な活用プランについて、現時点で想定されている活用構想を聞かせてほしい。

三角八丁の中心地域であり、観光エリア、宿泊エリア、商工業エリアをつなぐ拠点になると思う。

四ツ角周辺整備状況は

問 四ツ角周辺の整備工事の進捗状況はどうか。

建設水道課長 国道20号北側歩道10月に完了。町道御田町線美装化は12月14日に終了予定。交差点の右折禁止の解除は1月中旬を目標としている。四ツ角小公園整備は来年3月中に終了予定。

ヤングケアラー対応を

問 ヤングケアラー対応が新たな課題として持ち上がっている。関心はあるか。

教育子ども課長 町として関心はある。今後支援が必要なものも予想される。注視していきたい。

問 支える取り組みへの考えはどうか。

町長 子どもに関わる様々な問題にしっかりと取り組み、関係機関と体制強化したい。

感染症から児童を守る

問 11歳以下のワクチン接種対象でない児童の感染予防で「非接触型自動水栓」が設置予定。設置箇所は。

総務課長 小学校2校に116口、中学校2校に104口、保育園3園に91口、町公共施設に計42口を本年度内に設置する予定。

水害対策について

問 15年ぶりに再度発災した諏訪湖周辺の内水氾濫。

消防署、消防団、消防団OB、町職員の方々が土のうを運ぶなど懸命に作業する姿は心強く、感謝の思いでいっぱいである。諏訪湖の満水防止の対策は。

建設水道課長 釜口水門の操作規則がH23年に改定され、最大放流量が毎秒430tに。だが、天竜川の氾濫等を考え最大まで流せない。事前放流も要望。

町長 8月の災害は諏訪湖の水位上昇による内水氾濫で冠水などがあったと考えられ、国や県に改修要望を

行うべきと考える。



諏訪湖周辺の内水氾濫と消防団の活躍

公共施設について

問 総合文化センターの改修が町長の英断により延期となった。町の公共施設の維持改修の考え方は。

総務課長 劣化の修復だけでなく、安心安全な施設環境を目標としている。社会状況、町の収入状況、また、コスト面も考慮。

問 減災への森林整備は。産業振興課長 間伐計画で。

問 脱炭素へ「建築物木材利用促進法」の施行は。

総務課長 公共施設の木材利用が公共団体の責務に。可能な限り、木材利用に努めている。

<グループ名>
令和会 B



<所属議員>
田嶋 彰 議員
中山 透 議員

問 町長の御柱祭のリーダーシップは

町長 感染防止を徹底して、安心安全に

御柱祭の準備状況は

問 山出しの準備状況は。

産業振興課長 有料観覧席の運営を検討。木落し時の催物の予定はない。

問 コロナ対策の状況は。

産業振興課長 下社3地区及び実行委員会に対応する。また、町実行委員会のガイドラインを周知徹底する。県の方針を見て、ガイドラインの更新もある。

問 里曳きの対応は。

町長 前回と同様にはできない。行事・催物を条件付

きで縮小実施することや、中止も考えられる。



里曳き 神賑わいパレード

問 御柱祭に対する思いは。

町長 町実行委員会のガイドラインは全ての人に理解

してほしい。諏訪地域のお祭りでもあるので、各種団体と協力して感染防止を徹底し、安心・安全な対応をしていきたい。また、本祭から小宮祭までの1年間を御柱祭と捉えて、御柱祭後も長持ちや催物等の練習の成果を披露できる機会を創出していきたい。

ふるさと納税の状況は

問 コロナ禍での状況は。

総務課長 全国集計では、R元年とR2年の比較では、受入額で14倍、件数で1.5倍。

問 増加の要因は。

総務課長 ワンストップ特例制度により、増加していると考えられる。1件当たりは少額だが、前年と比べて199件増加している。

問 今後の見通しは。

町長 8月の豪雨災害の被害を受け、被災者支援として、ポータルサイトで多くの寄附があった。町内事業者には返礼品登録を、販路としても活用してほしい。

問 新しい返礼品の考えは。

総務課長 宿泊旅行クーポン、御柱を用いた枡等、下諏訪の魅力を感じる物を。

湖周の今後の活用は

問 湖畔の「健康ステーション」「RVパーク(車中泊スペース)」の利用状況は。

建設水道課長 「健康ステーション」は11月末時点で2413人、登録者は513人(町外65人含)で、1日平均17人の利用。

建設水道課長 「RVパーク」は11月末時点で83台利用。県外からの利用が多い。

問 湖畔の健康スポーツゾーンの観光活用は。

町長 ヨガとガイド付き観光宿泊プラン等、健康スポーツゾーンの活用を観光振興局の観光推進部で検討。

運動部活動改革

問 R5年度に向けての部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの課題は。

教育長 教員の長時間勤務や改革に伴い部活動の法人格を持った運営主体の確保、人員の確保を研究したい。

問 今後の町の取組は。

教育長 部活動改革には、部活動指導員や運営主体の確保の検討が必要。

問 部活動の地域移行は。

教育長 持続可能な地域移行の実践研究を進める。

問 移行の受け皿は。

教育長 町スポーツ協会が基になるが、法人格指定管理者の対応が必要。

問 移行に伴う説明は。

教育長 ニーズを基に、町の方針を各校の保護者懇談会などで説明していく。

問 各大会の見直しは。

教育長 状況確認し、社会体育でないものを見直す。



諏訪湖博物館の今後の企画は



魅力、歴史文化の再発見を

産業振興課長

問 星ヶ塔遺跡ツアーがブレイクしたが、感想や、新たな企画の立案はあるか。
産業振興課長 多くの参加者が楽しめたと実感している。売りである「博物館から見える景色」を、入館者に伝えたい。

問 今後の新しい企画の内容は。
産業振興課長 下諏訪から世界に発信し続けた世界的なアーティスト「松澤宥」生誕100周年の企画展を開催する。

企画開催に共通ガイドラインを



主催者が責任をもって開催

町長

問 コロナ対策において、各種イベント開催における危機レベルの段階的開催可否等、町の共通ガイドラインが必要ではないか。
町長 県が示す対応方針で、主催者等が責任をもって開催し、町は情報提供する。

問 河川の堆積物は、河川の断面積を減らし、保水力を弱め、流量に影響を与える雨水災害の元凶。河川の堆積物の撤去状況は。
建設水道課長 定期的なパトロールで、状況を確認し、適宜に撤去している。現在、砥川河口で、6000tを目標に撤去中である。

諏訪湖の浚渫必要では

問 貯蔵品の館外展示についての考えは。
産業振興課長 十分に検討の余地はあると考える。



貯蔵庫に収まる多数の大作内作ブロンズ像

道路行政について

問 宮街道線混雑の対策は。
建設水道課長 ゾーン30や、カーブミラーを活用して、緩和を促したい。

問 富部信号機の待ち時間が長いとの声があるが。
建設水道課長 警察署と相談した。協議・検討をするとのこと。

おでかけ町長室

問 今年の開催実績は。
町長 2回あり、生活クラ

問 究極の治水対策は諏訪湖の保水力を高めること。そのために、浚渫が必要と考えるが。
町長 浚渫土の処分確保が困難等として、H15年から中止されている。治水の観点では場所によって浚渫が必要などところもあるため、注視する。

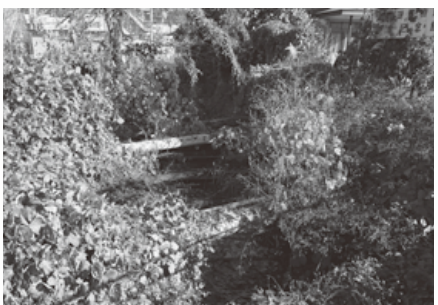
問 積極的に諏訪湖浚渫再開を求める行動を。
町長 湖への土砂体積は、自然の摂理であるので…。浚渫が必要ではないという

ブ、商工会議所青年部との意見交換をした。
問 感想と、今後の予定は。
町長 とても良い話し合いができ、少人数の会話に好感が持てた。自ら出向いて、少人数でも行いたい。

町内飲食店・商店の応援

問 今後の応援施策は。
町長 12月より、年末年始お買い物キャンペーンを開始。飲食店・商店を対象とした。事業主やお客様からの喜びの声が聞かれた。

意味ではない。
問 町の補助金対象組織である下諏訪観光協会の会長職への町長就任は、不適切であるとの見方がある。就任した経緯と、考え方は。
町長 観光事業者の廃業、高齢化で活動が困難になってきた事と、自分の観光振興への想いが重なった。協会の方角性、組織の在り方を変える過渡期。基本は、協会長は民間の方に担って頂きたいと思っている。



高浜源湯横の水路

学校統合を
どのように考えるか



岩村 清司

2030年までは
現状で

教育長

問 10年後20年後の各小学校の生徒数は。
教育長 現状の生徒数は、南小588人、北小249人、厚生労働省の国立社会保障人口問題研究所によると。10年後、南小443人、北小188人、20年後、南小372人、北小158人と推測される。統合については、5年後に大きく変化しなければ10年後までは現状で考えている。

問 赤砂崎エコタウン構想について、進展及び方向性
町長 今後のあり方、使用方法を他の施設の視察を行いながら利用者にとって何が一番良いか、研究課題としている。

問 八島高原キャンプ場の利用状況は。
産業振興課長 H16年度まで使用されていたが、管理



現在の八島高原キャンプ場

問 国からの借地面積と契約期間は。
産業振興課長 野営場として3607㎡、3年間契約で更新されている。
問 キャンプ場としての再開を検討して頂きたい。
産業振興課長 老朽化に対する整備を、どの様にしていくか検討している。
町長 管理面から休止しているが、研究させて頂きたい。

星ヶ塔遺跡
投資も必要



大橋 和子

国史跡として
保存活用計画

産業振興課長

問 歩きやすい環境整備や各観光場所に絵と説明看板を置くなど、星ヶ塔遺跡に投資も必要と考えるが、新たな施策は。
産業振興課長 星ヶ塔遺跡は、来年度から国史跡としての保存活用計画策定に着手し、具体的な活用に向け検討。
問 おいでやからの通路としてアーケード設置して、雨にぬれずアクセスできるなど、矢の根やの施策は。
産業振興課長 矢の根やの

問 赤砂崎公園の活用
町長 広スペースを活用し町出身の柳澤寿男氏を招いた芸術祭等の企画は、どうか。
町長 町が主催者となる考えはない。公園スペースを運営する民間事業者を公募

問 高齢者の為に、春には桜見物をして、健康ステーションで運動、足湯で語ら



指揮を務める柳澤寿男氏

問 御柱祭の来町者数等の見込みは。
産業振興課長 前回の下社御柱祭の人数は、92万9千人。上社、下社を合わせた観光消費額は161億6千万円。減少が推測される。
問 誰もが旅を楽しめるようなユニバーサルツーリズムを充実させた観光推進は。
産業振興課長 推進団体との協議で、観光面での共生社会実現に寄与したい。
選定する制度活用を検討中。
問 誰もが旅を楽しめるようなユニバーサルツーリズムを充実させた観光推進は。
産業振興課長 推進団体との協議で、観光面での共生社会実現に寄与したい。
問 健康ステーションの活用は。
教育こども課長 施設に足を運んでもらう機会を増やしたい。保健指導、介護予防などの面から利用者拡大を図りたい。
問 バスでお見送りをしたい、バスでお見送りをしたい。
企画は初期の目的が叶う。
健康ステーションの活用は。

議会だより

モニターの目



- ❖「議場図解」が面白かった！の声、多数
- ・見たことのない議会の様子が、わかりました。ナイスアイデア！
- ・傍聴してみたい気持ちになりました。
- ・課長席も決まっているなら、課長さん方の顔写真と課名を載せるのも「手」では。



広報特別委員会より

- ・ぜひ、傍聴にお越しく下さい。
- ・課長さんの顔写真・課名掲載のアイデア、ありがとうございました。次の機会があれば、検討します。

- ❖決算審査を伝えるページの金額の表示に統一感がなく、約〇〇円との表記と1万円の単位までの表記が、混在している。「決算金額がどんぶり勘定なの？」と気になりました。



広報特別委員会より

いえいえ、決してどんぶり勘定ではなく、1万の単位まで示されたものを、審査しています。表記のバラツキがないように、気をつけてまいります。

- ❖単に議会報告をするだけでなく、今の町政の課題について、掘り下げること必要では。



広報特別委員会より

貴重なご意見、ありがとうございます。企画ページなどで検討していければと思います。

初の新年度予算編成への思いは

観光都市
下諏訪を活かす



町長



青木 利子



8月の災害

問 新年度予算編成は。

町長 新年度予算の基本方針はコロナ対策、災害復旧、防災減災対策を最優先として、その上で私が掲げた3

つの理念と、8つの重点施策に基づき、住みたい町、住みやすい町が実感できるまちづくりを推進。

問 町長がまるまる編成する初めて予算への思いは。

町長 観光では、私が第一に掲げる「観光都市しもすわ」を目指し賑わいの創生を展開。また、「旧矢崎商店」も活用し、移住定住や観光発信の拠点に。

問 おでかけ町長室から予算に反映したものは。

町長 2回の開催。12月に

一般質問

モニターの目

3回目を予定。少人数でも親密に、フランクに話ができた。内容はまちづくり、観光、福祉関係の視点やアイデアもあり予算にも反映。

春宮前駐車場の現状

問 春宮前の混雑解消は。

産業振興課長 お盆休みや連休は2人の警備員を配備して対応。また町のテーマであるまちあるきを推奨し友之町・四ツ角駐車場へ看板で案内する。

ジェンダー平等

問 ジェンダー平等の視点から、近年の女性の自殺者増が気にかかる。警察庁によると、昨年の自殺者数は男性約1万4千人、女性約7千人で、前年比男性23人減、女性935人増。町の状況はいかがか。

保健福祉課長 厚生労働省の公表で、R元年は男性1人、R2年は男性1人、女性3人、R3年11月末で女性1人。詳細は不明。

議会掲示板

議会の活動を掲載します。

商工会議所との懇談会

下諏訪商工会議所との懇談会を、10月26日(火)に実施しました。

商工会議所が、町に提出した「要望書」の内容を知り、自らの議員活動に生かそうとの狙いで、年に一回開催しているものです。商工会議所から小林会頭はじめ、3人の副会頭、専務理事を迎え、全議員が出席しました。

町の稼ぎ頭である製造業と観光業をどう守り発展させていくべきか、「三角八丁」に駅エリアを含めた「四角八丁」を考えるべき、コワーキングスペースの整備、「あざみ号」では不十分な交通体系の構築など新規要望を主に説明いただき、質疑応答の時間を取りました。

また、要望書の基となった「下諏訪商工会議所中期商工業振興ビジョン」については、日を改めた11月1日(月)の議員学習会で、津村副会頭から説明を受け学びを深めました。



四地区に赴き ご意見うかがう



4区



5区

下諏訪町議会では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年度も大勢の皆さんに町総合文化センターなどに集まっていた形での「議会報告会」の開催を見送りました。それに替えて、居住する議員がいない四地区の公会所に、議員が3~4人の少人数でお邪魔する懇談会方式を実施することにしました。

11月9日~17日に、夜間4・5・9・10区で開催された理事者会などにうかがい、ランダムにご意見をお聞かせ願ひ、災害への対応、広報無線はじめ町の情報発信に対する要望、道路行政に対するご意見・ご要望など、多くを頂戴しました。その後、11月22日議会全員協議会にて、各会場でお聞きしてきた内容を全議員で情報を共有しました。

12月定例会では、各区から出された「災害対策」「交通対策」などを一般質問で取り上げる議員が、複数でした。



9区



10区

特別企画

私が町長だったら

これを
実行したい!



森 安夫

若者への町内就労支援で下諏訪町の活性化

①町内インターンシップ参加者への旅費、宿泊費の全額補助 ②町内就職者に奨学金の返済補助 ③企業の採用活動費に補助金 ④町内就職相談窓口を設置し、きめ細やかな就労支援。

下諏訪温泉健康浴場の誘致を行います

温泉のある町の最大のキーワードは、多くの人々が集える施設の整った総合温泉健康ラウンジの建設だと思う。ビジネスホテルの建設も同時に行い、わが町の一番の売りにしたいと考える。



樽川 信仁



田嶋 彰

商業施設と観光施設を赤砂崎に作ります

風光明媚な赤砂崎に、1階が諏訪湖・富士山・御柱を体感できる商業施設、2階がビジネスマンや観光客が宿泊でき喜んでもらえる観光施設を設置して、おいでなしてしらすわの拡大を図る。

「稼ぐ観光」より、豊かな生活支援の町政を

自然、歴史、温泉などの恵みを町民が共有し癒され、来訪者には観光資源としておもてなしとする。そして、町民のゆりかごから墓場までの一生に寄り添ったトータルな生活支援の町政を進める。



増沢 昌明



林 元夫

諏訪経済圏の確立に向けて広域連携を計る

広域連合は、主に広域消防と介護保険事業だけ。諏訪圏における経済連携は皆無に等しい。“諏訪圏カード”“諏訪商品券”の発行も面白い。工業マッチング連携、諏訪圏観光DMOの推進、諏訪圏合同イベントの開催…。

諏訪市・岡谷市・下諏訪町の合併の実現

合併は地域コミュニティを再構築する住民参加のチャンスである。合併こそ最大の行政改革である。行財政能力を高め、経費を削減し、財源を生み出す絶好の行政手法である。私は政治生命をかける。



岩村 清司

男性と女性が50：50の自然なまちづくり

あらゆるところに女性と男性が50：50（フィフティーフティ）に存在し格差のない町にしたい。例えば議場でも男性と女性が半分ずつ占める議会へ。さらに誰もが議員になりたくなる議会に、また町に。



青木 利子



大橋 和子

インバウンドを推進し世界の下諏訪町にする

世界的に認知の低い下諏訪町を国際的に人気が出るよう、現地旅行関係者との連携を持ち、長年旅行業経験で得た知識と英語、西語を活かし、通訳を雇わず、自ら、経費をかけず営業に専念する。

安心安全な町にする

議員になって取り組んだことは、安心安全な町づくり。災害が繰り返し起こるので、なおさら重要なことだと思う。私の質問は住民要望を基にしているので、町長だったら全て実現させる。



松井 節夫



中山 透

小・中一貫校を設置して、質の高い学校教育

下諏訪に住んでいるからこそ通学できる公立小・中一貫校を設置する。切れ目なく、質の高い教育が受けられることにより、下諏訪町へ若者の移住を促進し、人口増と少子高齢化に対応していく。

若年世代が働ける場所作りと新天竜川造成を

若い世代の働き先として企業を誘致し、空き施設はコワーキングスペースに活用。また、諏訪湖満水時の水害防止を6市町村で要請し、釜口水門放水口を拡幅、堆積物を除去し、新天竜川を造成。



野沢 弘子



中村 光良

元気で活気ある町 支えあう温かい町に

まずは町を支える現役世代と子ども達の人口増を図る。そのうえで、町民同士が支えあう温かい町を目指す。町内どこに住んでも同じように暮らせる町、ひとつの家族と思える町が理念。

教育分野の保護者負担軽減と国保税引き下げ

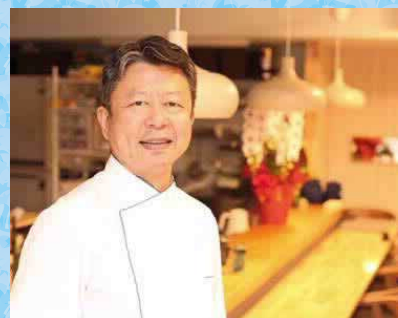
保育園・小・中学校の給食無償化、学用品の見直し、給付型奨学金の拡充などで、保護者の経済的負担軽減を図る。また、一般会計からの財源繰り入れにより、高すぎる国保税を引き下げる。



金井 敬子

好きです しもすわ

「下諏訪町に移住して」



ケンケンレストラン
坂本 賢一

はじめまして。私は昨年4月に東京から移住して、下諏訪駅前商店街にフランス料理店を開業いたしました。東京では17年個人店を経営していま

した。次店の候補地を地元で探していました。なかなか見つからず、そんな折にこの町を訪れたのがきっかけでした。最初の印象は歴史のある静かな町で、宿で飲んだ水道水が冷たく美味しかったことに感動しました。その後何度も足を運ぶうちに、移住された方々がお店を出されているのを知り、町や地域おこし協力隊の力を借りて、遂に移住へと至った訳です。商店街の方や地元の店主が語る「この街が盛る」の言葉に私もお手伝いしたいという思いで参りました。

あいにくコロナ禍となってしまいましたが、最終後に向けて、自店を通じて多くの人に下諏訪町に来てもらう準備をしています。

まだ住み始めたばかりですが、受け入れてくださった方々に感謝しつつ、この町で楽しみたいと思っております。どうぞよろしく願います。

編集後記

R4年を迎えました。今年には御柱年です。本来なら各地区にて、1月から綱打ちが始まります。私は御田町の祭典委員長を拝命され昨年の暮れの押し迫る中、役員分担を決めました。それから一人一人に御願いをしようやく組織を作る所まではたどり着きました。「よしやるぞ！」今年はどうなお祭りになるのでしょうか。大きな期待と皆様のご健康を心より願っております。今年こそ、コロナも収束して楽しい1年でありますように。お祭り大いに楽しみましょう。

(樽川)

- 広報特別委員会
- 委員長 金井敬子
 - 副委員長 中山透
 - 委員 樽川信仁
 - 委員 増沢昌明
 - 委員 青木利子
 - 委員 大橋和子

議長のつづやき

「大風呂敷を広げる」



議長 森 安夫

今回の議会だよりは、面白い特集が組まれました。R4年度の予算編成時期を踏まえ、「私が町長だったら」こうした事も実行したいという、議員の考え方をワンポイントで表したものです。私が町長ならもつとここに重点をおき、予算措置をするということでしょうか。それぞれの議員の思いを汲んでいただければ、大変幸いです。ありますが、実行に無理がある無責任な提案でないことを思うわけであります。

どこかの市長は、選挙での看板公約が議会で否決されたとのことです。住民に良い印象を与えて当選したものの、施策を実現できずに住民を欺したことになります。しかし今回の議員の提言に、「大風呂敷を広げた」とか「大ほら吹き」ととられ

るような提言があればそれはそれで、面白い訳ですし、これらの提言も住民の皆様、の普段からのご意見から成っているものであると考えます。



誰が一番
大ほら吹きか？

「大風呂敷」や「ほら吹き」でなくするには、現状を充分認識し・視点を変え・知恵を出し合い・先を読みながら実行可能なものにしていかなければなりません。また、町をより良くするためには将来に向けて大局的な政策や考えを持つこと

は議員の使命でもあります。考えもつかないものへの挑戦も大事ではないでしょうか。池田勇人の「所得倍増計画」や田中角栄の「日本列島改造論」など戦後を代表する政治家は日本を大きく変えました。私ども町議会議員も大きなほら貝を常に持ち、いつでも響かせる施策を持って居たいものです。

町を変え発展させるためには慣習にとらわれず、大志を抱き、近隣自治体にかまわず、町独自の政策を実行する事も大切と考えます。今回の議員の提言はどうでしょうか？町民の皆様はどう受け止めたでしょうか？